企業・団体名（駒ヶ根高原リトリート　すずらん颯）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	個々に適した働き方(時間帯等)を考慮した人員配置を行い、幅広い人材登用を行っています。(シルバーや子育て世代のリーダー職起用)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	各部門長との定期的なミーティングを行い、現状把握に努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	〈予定〉現在外国人の応募･採用はありませんが、応募があれば積極的な起用を検討中。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	特に厨房に関してはマニュアルに添った衛生管理を徹底し、日々のクリンリネスに努めている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	従業員一人一人と3カ月に一度の面談を設け、吸い上げを行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	〈予定〉今後従業員の健康チェック、指導ができる体制を構築していく(当館のコンセプトとして)。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	従来の働き方にとらわれず、細かいシフト制により貴重な人材の確保を心がけている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	必要資格取得を積極的に行い、学習機会を設けている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、能力を加味して同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備･対応を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	当館のコンセプトであるリトリートを浸透させ、従業員へも健康指導を行える体制を構築する予定。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物削減のため、残飯が出にくい適量の食事メニューや使い捨てアメニティや紙コップ等を削減する計画を策定･実行している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	(予定)省エネ計画を策定し、推進する。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	ボイラー、エアコン、床暖の無駄な運転を避け、タイマー設定等行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	チャレンジ	法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定する。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した農薬不使用の農産物、無添加製品、そしてサービスを通じて生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	お客様のタオルをリユースして掃除に活用している。客室アメニティの使い捨てプラスチックの削減計画を策定する。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水道の使用料を毎月チェックして使用量削減に努める。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメントシステムは導入していない。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	客室、レストランに宿の環境への取組情報を掲示してい、お客様に理解して頂くように努めている。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	再生エネルギーは利用していない。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	基本	地球環境、人体に優しい製品・材料を極力使用した客室改装計画を策定する。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関与しないように社内に浸透させている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許等は所有していない。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報が記載されている書類は鍵のかかる場所に保管して、情報漏洩を阻止することを社員に徹底している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	基本	紛争鉱物は取り扱っていない。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	ハラスメント、汚職、贈収賄防止について認識を共有して未然防止に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	サービス（ファスティング）使用時に想定される健康リスクを洗い出し、対策を実施している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	基本マニュアルを都度更新しながら取り組んでいる									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品開発はしていない。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	基本	未病社会（病気予防）を実現すべく、免疫力を向上させるサービス企画・開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域のお客様に定期的に来客アンケートを記載してもらい、サービスの改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本	次世代を担う人材への交流・育成機会(修学旅行)を提供している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	基本	地産地消をモットーに食材は地元産を優先して仕入れ、地元の業者を極力活用している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	定期的な経営会議や、日々のコミュニケーションの中で常に全体に共有している								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	〈予定〉個々の常識として明確化していなかったので、今後可視化していく																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	必要部署、人員には専門知識の学習機会を設け、体制整備を心がけている																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	〈予定〉今後起こりうる事案を検証し、対応を統一化していく																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメントはしていないが、消防・避難関連の計画と訓練は実施している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	〈予定〉CSR方針の策定する。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	〈予定〉事業継続計画を策定する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	創成期のため今のところ取り組んでいない。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会、人、環境の健康増進	必要最小限の食（農薬不使用の農家の応援・仕入、マクロビオテック料理）、森林散策、整体エステ施術のサービスを提供し、自然治癒力を最大限引き出して健康増進に努める。また、社員の健康管理にも努める。		2	3														
健康事業者を手を組んで、病気予防の意識を皆に持ってもらう。	地域の健康増進に関連する事業者と組んで健康増進サービスの相乗効果を図る。			3					8									17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）